学校だより **やまつり**	矢祭町立矢祭小学校 令和２年９月　４日（金） 学校だより　No.１３ 文　責　　伊藤　弘行

２学期の抱負（がんばりたいこと・目標）

今回は、３年生の二人が、全校生を代表して抱負を発表しました。

二学期がんばりたいこと

三年　本田　瑛士

ぼくが二学期がんばりたいことは二つあります。一つ目は漢字の勉強です。特に書き順を意識して一学期よりも早くていねいに書けるようにしたいです。二つ目はケンカをした時に自分から「ごめんね。」ということです。一学期は仲良く遊んでいたのに、ケンカをしてしまい解決しないまま違う人と遊んでしまったりしてしていました。二学期はそうではなく、ケンカをしてしまった時は、自分からすぐに「ごめんね。」と言いたいです。

二学期がんばりたいこと

三年　益子　叶夢

わたしが二学期にがんばりたいことは、国語の学習です。とめ、はらいを上手に、正しい書き順で書けるようにしていきたいです。

もう一つは、たくさん本を読むことです。一学期にも、わたしはたくさん読書をしました。わたしは勉強も大事だけど、本を読むことも大事だと思いました。

二学期は、この二つのことをがんばっていきたいです。

ゲーム依存の息子をもつ母の後悔

以前、『ゲーム依存』についての講演会に参加したことがあります。講師を務めたのは、実際に息子がゲーム依存になってしまったお母さんでした。（息子は、当時　３３歳、無職、独身）　要約すると、こんな話でした・・・

> はじめは、息子が小学生の時、「友達はみんなやってるよ。」と言われ、軽い気持ちで買い与えた。最初のうちは、ルールを決めていたが、少しずつ時間が延びていき、夜遅くまでゲームをするように。当然、朝は起きられず、学校を休みがちになった。
>
> 中学生になると、完全に昼夜が逆転。昼頃起き出してきて、すぐゲームを始めるということが続いた。
>
> 高校へは行けず、少しだけ仕事をしたこともあったが、「会社に行くとゲームの時間が減ってしまう」という理由で辞めてしまった。それ以来ずっと就職していない。
>
> 今は、自分の部屋から出てこない。ずっと話もしていない。自分たち夫婦もいつまで働けるか、働けなくなったらどうやって生きていくのか不安で仕方ない。

そのお母さんは、「自分にも「ゲームやネット」に関する講演を聴く機会はあったけれど、仕事が忙しいということで参加したことが無かった。」と言っていました。そして、最後に「若い親さんには、自分と同じような後悔はしてほしくない。」と訴えていました。

この息子さんも、今では４０歳になっていると思います。現在、どういう生活をしているのか、これからどんな人生を送っていくのか、他人ごとながら心配です。